

国見・千代田のより処

ひなたほっこのご案内

○子どもから高齢の方、障害のある方など、さまざまな人や家族が、**自分たちらしく地域で暮らし続けられるように**ここにつどい、**地域の方や地域での生活を支えてくれる人と出会う場の提供**をしています。

○**急な困りごとで生活が困難になったときに**一時的に生活を支えて、**次の暮らしに安心してつながることができるようにサポート**をしています。



ひなたの紹介
はじまるよ!

ひなたくん
ひなたほっこ
マスコットキャラクター



赤い羽根
福祉基金

ここは
国見・千代田のより処
「ひなたぼっこ」

1見・千代田のより処
ひなたぼっこ

おはよう
ございます

おはよう
ございます

今日も
いいお天気で
よかったわ

雨の日の
ウォーキングは
たいへんですもんね

そうなのよ

佐藤さん
おはようございます

おはよう

毎朝決まって
新聞を読みに来る
近所の佐藤さん

今日も
お元気そうで
良かったわ

近くのコンビニの
店員さんも協力して
地域のみんなで
気にかけて「見守り」

コンビニ



ひなたぼっこでは
3ヶ月に1回
運営推進委員会が
開かれています

最近
施設のトラブルで
急に退所させられた人を
受け入れました



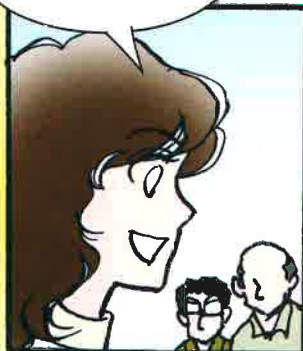
委員会のメンバーは
町内会長や民生委員、
地区社協、
地域包括支援センターなどの
地域の支援団体や施設の方など

最近地域で
気になる人は
いますか？

6丁目の高木さんが
最近あまり外に出て
いないらしくて

わかりました
今度
訪ねてみます

よろしく
お願いします



ひなたぼっこは
また

今日は
負けないよ！

ほら
ひっくり返して

今
考えてるん
だから！！

こんにちは！



ある時は
子どもたちの
遊び場でもあります

そして——

はい
ひなたぼっこ
です

障害高齢課の
山崎です

わかりました
受け入れですね

知的障害のある 20 歳代の男性です
名前は 土谷正弘さん

お父さんと 2 人暮らしですが
お父さんが 急病で
入院することになりました

ひとりで
暮らせるかどうか
不明なんです

受け入れますので
支援機関の方も
一緒に
来てください

お父さんが元気がなって
家に帰ってくるまで
ここで過ごせますよ

正弘さんは
家事は全然できないと
いうことなんです...

いつも
通っている
「おにぎり」*にも
行けますよ

※架空名称「おにぎり」就労継続支援 B 型事業所

ひなたぼっこで
暮らすうち

正弘さんはすこしずつ
身の回りのことが

できるように
なっていました



退院してうちに帰ったら
正弘が
自分のことが
できるようになって
俺も楽になって
前より
働けるようになった
ありがてえ

ひなたぼっこでの
暮らしのようすを家族や
支援機関と共有



仕事にも
慣れてきて
休みで出かけたなら

草のんー
です!!

イベントやって
体験で作ったんです
よかったら使ってね



ありがとう!
大事にするね

利用を終わっても
ひなたぼっこを再び訪れて
見せてくれる笑顔が
何より嬉しいのです

ひなたの活動を
紹介するよ!



事例

Aさん (50歳代 男性 知的障害)
高齢の母親と2人暮らし

高齢になった母親がAさんの世話をしていたのですが、母親が急に入院し、自宅で生活を続けることが難しくなりました。

ひなたぼっこでAさんを緊急受け入れし、Aさんの生活能力を把握、担当する支援機関と共有しました。

Aさんの特性にあった生活の場をAさんや支援機関と検討し、支援付きのアパートに入居が決まりました。現在もそこで必要な支援を受けながら暮らしています。

関係機関: 障害相談支援事業所・区障害高齢課、訪問介護事業所、支援付きアパート

仙台市及び市外

急な困りごとや、
万が一に備えた相談

国見・千代田のより処

ひなたぼっこ

- ・救急福祉 (緊急)
- ・対象は限定せず
- ・24時間365日

事例

Bさん (10歳代 女性) 両親との3人暮らし

家族との関係性が悪化し家出したBさん。警察で保護され、区からの依頼で、受け入れました。

当初は職員、利用者とも話しながらなかったBさんですが、地域の子どもたちの遊び相手をする中で徐々に心を開くようになり、職員とも打ち解けていきました。Bさんのつづやきから思いを拾い、区の担当者へフィードバック。その後アパートで新しい生活を始め、時々遊びに来て近況を話して帰ります。

関係機関: 警察、区家庭健康課・保護課、居住支援法人

緊急一時支援

急な困りごとで
生活が困難になったときに、
一時的に生活を支えて、
次の行先が決まるまで、
さまざまな機関と連携しながら
必要な支援を行います。

連携している主な支援機関
(カテゴリと主な支援機関)

○地域

- 各連合町内会・単位町内会
- 各地区民生委員児童委員協議会
- 各地区社会福祉協議会
- 仙台市社会福祉協議会
- 及び各区事務所

○子ども支援

- 児童相談所
- 各区家庭健康課
- (子育て世代包括支援センター)
- 各地域子育て支援センター
- 各児童養護施設
- 各学校、こども園・保育園・幼稚園
- 各学習支援団体
- 各自立援助ホーム 等

○女性・母子支援施設

- 各区家庭健康課
- (子育て世代包括支援センター)
- 各母子生活支援施設
- DV被害者等支援の各民間団体 等

○高齢者支援

- 各区障害高齢課
- 各地域包括支援センター
- 各居宅介護支援事業所
- 各介護保険サービス事業所

○障害者支援

- 各区障害高齢課
- 基幹相談支援センター
- 各障害者相談支援事業所
- 各発達相談支援センター
- 自閉症児者相談センター
- 各障害福祉サービス事業所 等

活動をしています



国見地域及び周辺

地域の人や多様な人、 団体の交流の場

- ・ 地域の人と
ひなたぼっこの利用者の交流の場です。
- ・ 地域の気になることを
地域のみなさんと考えています。

ひなたぼっこ
運営推進委員会

町内会長や民生委員、地区社協、
地域の支援機関や施設などと
3か月に1回情報共有等を行います。

事例

Cさん (70歳代 男性 知的障害) 一人暮らし

ある日、他人の庭に迷い込み警察に保護されたCさん。体調が悪く、病院を受診。地元の民生委員が病院に駆け付け、ひなたぼっこにつながりました。当初は、自宅での1人暮らしは難しいとの判断でしたが、ひなたぼっこでの生活の様子から、いろいろな支援をつなぐことで自宅で暮らすことが可能となり、自宅に戻りました。懇意にしている民生委員等に日々の暮らしを見守られながら、今も自宅で生活されています。

関係機関：警察、病院、区障害高齢課、民生委員、
地域包括支援センター



一時支援)

職員が常駐

コミュニティマガジン
月刊「みんなのわ」



国見地区に全戸配付
(一部、回覧)

国見地区世帯数
一般世帯：3,104
単身世帯：3,119

それぞれの地域で
安心して暮らす

新たな地域生活のサポート

利用終了後も
さまざまな支援機関とともに
関わり続けます。

困ったときは、
相談してね

いつでも
顔を見せてね

○生活困窮及び生活保護等支援

各区保護課
生活自立・仕事相談支援センター
路上生活者等自立支援ホーム
各救護施設
ホームレス支援やフードバンク等の
各民間団体 等

○居住支援

各居住支援法人
各見守り・支援付きアパート
各不動産会社 等

○司法関係

各警察署
検察庁 等

○更生保護等支援

保護観察所
地域生活定着支援センター
刑務所
少年院
各自立準備ホーム
各更生保護施設 等

○医療機関等

保健所
市立病院
各病院・診療所
各精神科病院
各訪問診療所
各訪問看護事業所 等

○各法律関係

各弁護士事務所
各司法書士事務所 等

いろいろな人と出会う きっかけの場を提供します。

ひなた食堂

軽食：月～金 12:00～14:00
カレー・ミートスパゲッティ・・・各330円
ケーキ・・・220円

喫茶コーナー

飲み物：毎日 9:00～18:00
コーヒー 220円
紅茶 220円
セルフコーヒー 各50円

ひなたくらぶ

地域の子どもたちにひなたぼっこホールを
無料で開放しています！

月～金 16:00～17:00
*長期休み期間も上に同じ
そのほか：長期休みの時、
子ども向けイベントや、食事の提供を行っています。

救急福祉（緊急一時支援）

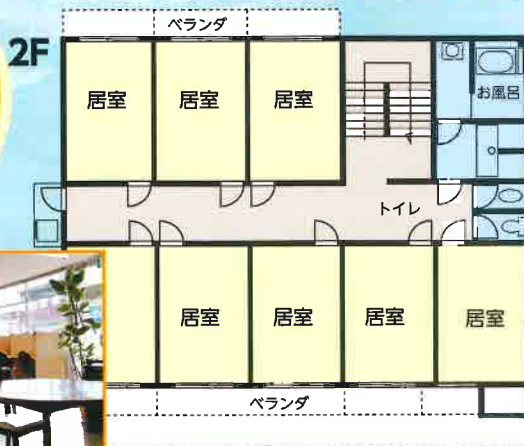
急な困りごとで生活が困難になったときに
一時的に安心して過ごせる居場所を提供し、
支援機関と協働して次の生活につなぎます。

利用料：自費の場合：宿泊費1泊2,000円
朝食400円、昼食500円、夕食600円
その他 洗濯代1回300円 ケア代500円/1日
*食事は希望の場合。
各種制度利用により、利用料は変わります。

居室（11室）は
プライバシー重視
ベッド、机を
備えています



ホールは
みんなの集い場
放課後の
子どもたちの
遊び場や
勉強にも使えます



ホールでは
カフェや
食事の提供も



DATA

●所在地

〒981-0936 仙台市青葉区千代田町1-13
*東北福祉大正門斜め前の白い建物です。

TEL.022-343-1340 FAX.022-301-8821

●アクセス

- ・仙台市営バス東北福祉大前バス停より徒歩1分
- ・JR仙山線 最寄駅：東北福祉大前駅・北山駅

●運営主体

特定非営利活動法人 全国コミュニティライフサポートセンター (CLC)
子どもも、高齢者も、障害のある人も、「誰もが地域で自分らしく」暮らせる地域社会を
目指して活動している NPO 法人です。

福祉系ネットワーク組織の運営支援、全国セミナー・フォーラムや研修等の企画運営、
ケア・地域づくり・計画作成のコンサルティング、出版、調査研究、「救急福祉（緊急
一時支援）」に取り組んでいます。

〒981-0932 宮城県仙台市青葉区木町16-30
シンエイ木町ビル1階
TEL 022-727-8730 FAX 022-727-8737
<https://www.clc-japan.com/>



24時間
365日対応

